



千八百七十八年九月二十八日刊行東京タイムス新聞抄譯

國財論  
(豫算表ノ關係)



4153





114  
A1416



八百七十八年九月二十八日刊行東京タイムス新聞

堀口昇譯

大正十一年四月  
廣信齋郵寄

國財論

抄譯

大藏卿大隈公閣下ウ曾テ太政官ニ呈進セル明治十一年度歳入  
出豫算表カ到底内外新聞記者輩ノ品評ヲ免ル、一能ハサルハ  
盖シ已ムヲ得サルノ勢ナリ  
然レモ此豫算表ニ於テ世人ノ評論ヲ概觀スルニ往年ト異ナリ  
テ大ニ其遇待ヲ異ニセリ  
余輩当今日ニ月ニ社會ノ間ニ傳播スル論評ノ帰嚮スル所ヲ觀  
察スルニ曰ク方今日本帝國ノ財政ヲ管理スル主宰ノ方略極メ  
テ老練極メテ亭壯ナルヲ以テ苟モ其挙作ノ間ニ迂濶ノ疑團ヲ  
置クヘカラヌ忽率ノ新評ヲ加フヘカラスト



大藏卿閣下、時ニ實地ニ敏捷ナル而巳ナラスルヲ諒省ノ職掌  
上諸般ノ事業ニ於テ銳意豪強ノ改進家ナルヲハ大藏省ヲ初メ  
各省ニ於テ既ニ施行シタル經費ニ関スル諸事ノ大改革ヲ見聞  
スル人ニレテ豈之ヲ知ラサルモノアラシキヤ  
蓋シ世人ノ知ル如ク大隈公ク成功シタル第一ノ事業ハ千八百  
七十五年百般ノ費途ニ定額ヲ預定スルノ制度ヲ設立シ往年ノ  
不整算ヲ匡正セシメ是ナリ  
其後公ハ憂心配慮ス可キ衆多ノ艱難ヲ凌キ又期ス可ラサル偶  
然、不幸ニ值遇スルト至氏曾テ之カ為メニ困迫スルヲナク益  
年粲然トシテ見ラルヘキ豫算表ヲ中外ニ報告スルヲ得タリ而  
シテ其豫算表タルヤ固ヨリ未タ日本政府ノ憂慮スヘキ項目ヲ  
脱去スルヲ能ハス又往時ノ如ク其謹戒ヲ怠ラサラントモ要ス  
ルノ條款ナキニシテモ非スト至氏亦タ能ク人民ノ不安不信ヲ消

散ト歡喜スヘキ將來ノ目途ヲ公示スルニ足レリ  
就中昨年ノ如キハ内乱ノ為メニ巨費ヲ要シ巨額ナル資本ノ使  
用上ニ俄然大變動ヲ發シ不時ニ非常ナル支拂ヲ外國ニ致シ一  
時國庫ノ空乏ヲ訴フルニ繼キテ前年ノ財政ト差異ナキ豫算ヲ  
立テ出納兩途ニ於テ適不及ナキ出入表ヲ呈進セル公ノ方略ヲ  
一目スレハ公ノ勵精墮オナルハ得テ知ルヘキナリ且余輩諸般  
ノ事情ニ於テ參考スレハ公ハ又勇アリト云ハサルヲ得ス是レ  
至当ノ名譽ニシテ其ヘサラント欲スルモ得ヘカラサルナリ  
余輩ハ大藏卿カ既往ノ決算ヲ揭示セサルヲ以テ豫算ト決算ト  
ヲ計較スヘキ便ナキヲヨリ前年ノ如ク驚々ナラスト至氏再  
ヒ世上ニ此ボノ苦情ヲ鳴ラスモノアルヲ聞知セリ  
顧フニ若シ苦情ヲ鳴ラス者ボカ之ヲ以テ故意ノ隱匿ニ歸シ以  
テ大藏卿閣下ヲ非スルモノナレハ余輩ハ之ヲ誣告ノ最モ甚シ



キモムト言フヘキナリ  
大藏卿閣下、最モ遠算ヲ生スヘキケ條ヲ細目ニ別テ之ヲ明  
瞭ニ揭示セリ故ニ余輩ハ前刷新聞紙ノ社説欄内ニ於テ屢ニ記  
載セル如ク平心虚意ニシテ細密ニ其預算表ヲ点檢スレハ大藏  
卿ノ概算實ニ正当ニシテ疑團ヲ容ルヘキ餘地ヲ剩サ、ルヲ  
証明スヘキ証左ノ數條ヲ得ヘシ  
公余輩ニ告テ曰ク去ル六月ヲ以テ苟ノ結ヘル年度(明治十年度  
ヲ指ス)ノ間大凡一千六百万円ノ内国公債ヲ償還スルノ見込  
ナリシト然レモ公ハ其見込ミノ如ク之レヲ償還スルヲ得サリ  
キ  
是公カ内国債ノ減少ヲ試ミタル第一舉ニシテ實ハ千八百七十  
七年ニテ公債ノ巨額ニ至ラサルカ爲メニ此ノ如キ所為ヲ施ス  
ニ要用ナラサリジナリ

何等ノ理由ニ根シテ公カ其見込ヲ遠ヘルヤハ再問ヲ待タスレ  
テ知ル可キナリ  
戦争入費及ヒ其他止ムヲ得サル費用ハ何事ヲ措クモ支拂セサ  
ルヲ得サリキ  
然レモ明治十年度ニ於テ日本國ハ其公債ノ若干ヲ償還スルヲ  
得タリ而シテ公ハ又再々其償還ヲ試ミンコトニ決意セリ  
公カ企望セル内国債減少ノ見込ハ當時世ニ雖然タル日本國  
カニ較シテ之ヲ論スル時ハ固ヨリ驚愕スヘキ大事件ト云ハサ  
ルヲ得ス故ニ余輩ハ其見込ノ充分ニ成功セサルハ敢テ恠ムニ  
足ラサルヲ知レリ  
余輩ハ嘗テヨリ日本政府ノ公告スル所ハ政府カ嚴密ニ履行セ  
ムンハアルヘカラサル確乎タル國是ニ非ラスレテ唯其政府ノ  
音意ヲ公示スル而已ノモノトセリ



余輩が觀察スル所ニ依レ、万一日本政府ノ内国公債償還ノ見込カ遠フコアルモ何ボノ不幸ヲモ生スルノ憂ナシト信スルナリ

夫レ内国公債ハ年々一百万円乃至二百万円ノ償還遠ヲ生スルト雖モ憂悲スヘキ弊害ヲ来スヘキモノニ非ルナリ

凡ソ日本政府カ後ニ内国公債ヲ増加スルノ舉ナクシハ之ニ因スル諸人ハ皆安然トシテ喜悦スヘキナリ

而シテ此ノ如キ無益ナル内国公債ノ増加ハ万々アルヘキコトニ非レハ幸ニ憂慮ヲ費サスレテ可ナリ

又外国債ハ適宜ノ限界内ニアリ且ツ荏苒減少スルカ故ニ仮令少シク其償還ノ際ニ於テ大藏卿ノ希望ニ遠フコアルモ豈敢然トシテ歡喜セサルヲ得ンヤ

大藏卿ノ外国公債ヲ償却シ尽セントノ決断ハ恰モ外国債ニ附

着タル嫌惡スヘキ弊害困窮ヲ再ヒ嘗ムヘカラサル意ニシテ決シテ動カスコト能ハサルナリ

方今英國債主ニ償還スヘキ負債ノ全額ハ大約一千三百万円ニ過キス

千八百七十五年以來毎年外国債ノ減スルモノ大約年ニ七十五万円ノ割合ナリ

本年ノ如キハ猶ホ數歩ヲ進メ一百七十万円ヲ減少スルノ見込ナリ而シテ余輩頭ヲニ此見込ハ充分能ク成功スヘキナリ

外国公債ノ減少ハ内国公債減少ノ如ク之ヲ等閑ニ附スルコト能ハサルナリ

何トナレハ内国公債ハ余輩前ニ陳述スル如ク漸々之ヲ償還スルノ思慮ヲ全ク放棄セサル以上ハ假令限及ナキ時代ノ間之ヲ延期スルモ敢テ患害ノ生スヘキニ非レナリ



右内外公債ノ二項ヲ除キテハ歳入出豫算表中ニ於テ敢テ注意  
ヲ要スヘキモノナキナリ  
地稅ノ増嵩シテ昨年ヨリ殆ント一百万円ノ多キヲ加フル所以  
ハ明瞭ニ之ヲ表中ニ説キ明セリ  
余輩按スルニ当令文運旺盛ニシテ事物日ニ月ニ其改良ヲ極ム  
ル時ナレハ現時日本ノ農夫カ負擔スル過重ノ荷物(所謂過重ノ  
租稅)ヲ免レ工商ノ徒カ國家ノ保存ニ必要ナル出費ノ当然ナル  
部分ヲ擔當スルニ至ルノ時ハ時ニ遠キニアラザラントス  
此事ヤ日本政府モ亦銳意ニ企望スル所ナルハ世人ノ能ク知ル  
所ナリ  
然レモ日本政府カ其内國人民ノ肩ヲ息ヒ且其歳入ヲ増加スヘ  
キ自然ノ好期會ハ外國條約ノ束縛ニ因テ消滅セラレタリキ  
此等ノ束縛モ教員ヲ出シテ略シ解除スルヲ得テ共ニ日本

財政困難ノ一原因ヲ示散ハルヲ得ヘキハ余輩ノ欣然佇立  
レテ待ツ所ナリ  
酒及ニ其他ノ飲料ニ賦課セル増稅ニ因テ歳入ノ増加ヲ生スヘ  
シ余輩願フニ此増稅ハ蓋シ一百万円餘ナルヘシ  
余輩カ明細ニ記載セル費途(内外公債償還)ヲ除キ其他ノ費途ハ  
大概諸官省ノ經費ニシテ不額ニ過キサレナリ  
日本大藏卿ガ各省ノ經費減額令ヲ發行スルニ省テ特ニ文部一  
省ノ經費ヲ減少セカリレハ余輩ノ稱讚ニ耐ヘサル所ナリ  
何トナレハ余輩カ帝ニ主張スル如ク人民教育ノ為ニ犧牲ト  
スル所ノ資本ヲ限制スルハ經濟ノ真理ニ於テ許サ、ル所ナレ  
ハナリ  
聞ク人民教育經費ノ増減何如シハ内閣諸公ノ討論抗議ノ主趣  
ナリシト



頃フニ日本大藏省リ其重荷(内外公債ヲ云フ)ヲ脱却スルニ至ラ  
サルノ間ハ貴重ナル人民教育ノ經費ト雖氏到底政府ノ都合ニ  
依テ制限セラレサルヲ得ス

諸事ニ於テ著明ナル如ク人民教育ニ於テモ亦ク大藏卿ノ賢明  
果斷ヲ見ルヘキナリ

概シテ大藏卿ノ諸事ヲ裁断辨識スルノ賢明卓見ナルヲ以テ推  
考スレハ卿ハ本年中ノ必用費ニ於テ充分ノ預備ヲ設ケラレタ  
ルヘレ故ニ明年六月ニ至ルモ必ス不足ヲ生スルノ患ナク一層  
改良ノ所置ヲ施スヲ得ルハ余輩ノ敢テ前言スル所ナリ



